

ダイオキシンを減らすために……

県内で発生したダイオキシンのうち、約七割は私たちの家庭から出たごみや産業廃棄物などの焼却によるものといわれています。

家庭でごみは燃やせません

家庭用の焼却炉のほとんどは、燃焼温度が十分に上がらず不完全燃焼を起こしやすいため、ダイオキシンを多く発生させます。

平成十四年十二月から焼却炉の規制が強化されたため、八百度以上で焼却すること、バーナーや温度計を設置することなど、一定の基準を満たしていない焼却炉は使用禁止となっています。

庭先などで基準に合わない焼却炉の使用や、ドラム缶などでの焼却はできません。

また、事業者が使用する焼却

炉はすべて届け出が必要です。新たに焼却炉を設置する場合にはご連絡ください。

ごみはルールを守って出しましょう

ダイオキシンを減らすためにはまず、ごみを減らすことが必要です。

買い物の際には、「必要な物を必要な分だけ買う」「買い物袋を持参する」「過剰包装は断る」といったことを心がけるほ



活動事例報告をする南古谷支会の皆さん



導入された青色回転灯装備公用車

第18回防犯並びに暴力排除推進大会を開催 ～みんなでつくろう小江戸川越防犯のまち～

最近、空き巣やひったくりのほか、女性や子どもが被害者となる事件、暴力団犯罪や覚せい剤の乱用、少年の非行などが増えています。

このような犯罪情勢の中、地域安全意識の高揚を図ることを目的として10月21日、やまぶき会館で、市・川越警察署・川越防犯協会・川越市暴力排除推進協議会の共催による「第18回防犯並びに暴力排除推進大会」が開催されました。地域防犯推進委員をはじめとする約800人の皆さんが参加しました。

この大会では、防犯関係功労者・防犯ポスター入賞者等の表彰、活動事例報告および「みんなで つくろう 安心のまち」を合言葉とした大会宣言が行われました。地域安全活動のリーダーとして、地域の皆さんと共に、市・警察・事業所など関係機関が連携し、安全で安心して生活できる地域社会の実現を目指し、いっそう努力することを決意しました。

また、市が導入した青色回転灯装備公用車や、防犯のまちづくりに関する協定を締結している事業所等の車両による防犯パトロールの出発式も合わせて行われました。

問い合わせ…市民活動支援課防犯推進担当・TEL内線2421

ご存じですか？

里親制度

か、物を大事にし、ごみの分別やリサイクルを徹底するなど、市民の皆さんひとりひとりの行動が大切です。

そして、家庭や事業所でのごみ焼却をやめ、ルールに従ったごみ処理をお願いします。

ダイオキシンの削減のために

さまざまな事情で、家庭での養育が困難になった子どもたちの多くは、乳児院や児童養護施設などで養育されています。里親制度は、家庭に恵まれないそのような子どもたちを里親として預かり、温かい家庭的な雰囲気の中で育てる制度です。

里親の種類には、①家庭の事情や親の長期入院などの理由により、家庭で生活できない子どもを養育する養育里親②一年以内の期間を定めて子どもを養育する短期里親③虐待を受けて心に傷を負った子どもを期間を決めて養育する専門里親（養育里親として三年以上の養育経験があり専門里親研修の課程を修了することが必要です）があります。

子どもについて温かい愛情と

は、市民の皆さんの協力が不可欠です。

問い合わせ：焼却炉の規制・届け出についてⅡ環境保全課大気保全係・TEL内線2622▼家庭での焼却・ごみの収集についてⅡ環境業務課管理係・TEL内線2631

正しい理解を持ち、家庭が健全に営まれている方なら誰でも里親になることができます。登録方法等、詳しくはこども家庭課にお尋ねください。

●里親相談日を開催します

里親制度の普及促進を図るため、「里親相談日」を開催することにしました。里親について関心のある方は、お気軽に「里親相談日」にお越しください。

内容：川越児童相談所職員・現役の里親・こども家庭課職員が、里親制度についての疑問や相談に応じます。

日時：11月30日(水)、午前10時～午後3時

会場：南公民館

問い合わせ：こども家庭課児童

福祉係・TEL内線2583

あなたの向学心を応援します

●市の育英資金（無利子）

高校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・大学・専修学校などに来年4月から進学または在学中の方で、経済的に就学資金などの支出が困難な方にお貸します。

学資金と入学準備金

対象（次の要件を満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で学資金や入学準備金支出が困難である③学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間＝卒業後6か月）

提出書類…①借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知書の写し⑦保護者の平成17年分の源泉徴収票または確定申告控えの写し

*①②の用紙は、教育総務課（東庁舎2階）にあります（市のホームページからもダウンロード可）。⑥は申込期間後の提出も可能です。

申し込み…来年2月1日(水)～3月7日(火)に教育総務課

問い合わせ…教育総務課総務係・TEL内線2822

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

区 分	貸付額		
学資金 (月額)	高等学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	13,000円
		私立	20,000円
	高等専門学校		16,000円
	大学（短期大学含む）		30,000円
入学準備金	高等学校 中等教育学校 (後期課程に限る) 専修学校	国公立	150,000円
		私立	280,000円
	高等専門学校		160,000円
	大学（短期大学含む）		360,000円

●国の教育ローン（1人当たり200万円まで）

高校・短大・大学・専修学校・各種学校等に入学・在学する方の保護者に、教育資金を低利で融資します。申し込みは随時受け付けています。

教育貸付

対象…入学・在学する方の保護者等で、年間収入9,900,000円（事業所得者は7,700,000円）以内の方

融資額…学生・生徒1人につき2,000,000円以内

利率…年1.65%（平成17年10月13日現在・固定金利）

返済期間…10年以内（交通遺児・母子家庭の方は11年以内）

返済方法…毎月元利均等またはボーナス月増額返済

問い合わせ…国民生活金融公庫教育ローンコールセンター・TEL0570-008656

●交通遺児のために（無利子・返還20年以内）

交通事故で死亡したまたは重い後遺障害が残った方の子どものうち、経済的な理由で就学が困難な方に学費をお貸します。

交通遺児等育成資金

対象…中学校卒業までの子ども本人

申込者…交通遺児を扶養している保護者

貸付金額 はじめに一時金 155,000円

貸付期間中毎月 20,000円

小中学校の入学支度金 44,000円

貸付期間…貸し付けが決定した月から中学校卒業の月まで

返還方法…割賦（月賦・半年賦・年賦から選択）による20年以内の均等払い

返還時期…中学校卒業後1年間据え置いてから返還（猶予があります）

申し込み…随時

問い合わせ…自動車事故対策機構埼玉支所・TEL048-824-1945

交通遺児育英会奨学金

在学生と進学予定者で申込時期等が異なります。随時受け付けています。詳しくは、お尋ねください。

対象…高校在学以上の生徒・学生（申し込み時29歳まで）

貸付金額	奨学金（月額）	高等学校・高等専門学校	20,000円～40,000円
		大学・短期大学	40,000円～60,000円
		専修学校（専門）・各種学校	40,000円～60,000円
		専修学校（高等）	20,000円～40,000円
	入学一時金（1年生のみ）	高等学校・高等専門学校	300,000円
		大学・短期大学	400,000円
		専修学校（専門）・各種学校	400,000円
		専修学校（高等）	300,000円

返還…最終学校卒業後、6か月据え置いてから20年以内で月賦・半年賦・年賦などの割賦償還（猶予・免除があります）

問い合わせ…財交通遺児育英会・TEL0120-521286

●母子家庭のために（無利子）

母子家庭を対象に、授業料の一部と入学準備金を無利子でお貸します。

修学資金と就学支度資金

対象…母子家庭の母（所得制限があります）

返還期間…修学資金＝貸付期間の2倍～3倍▶就学支度資金＝5年以内

据え置き期間…卒業後6か月

提出書類…①貸付申請書②全部事項証明（戸籍謄本）③所得証明書（申請者・保証人）④合格通知書⑤借入書⑥印鑑証明書（⑤⑥は貸し付け決定後に提出）

*貸付申請書はこども家庭課（本庁舎2階）にあります。

申し込み…修学資金は随時、就学支度資金は来年3月末日までにこども家庭課児童福祉係（本庁舎2階）

*母子自立支援員が事前に相談を受け付けます。早めにお問い合わせください。小中学校の就学支度資金は、所得税非課税世帯に限ります。

問い合わせ…こども家庭課児童福祉係・TEL内線2588

区 分	貸付限度額		
修学資金 (月額)	高等学校	公立	18,000円
	専修学校（高等）	私立	30,000円
	短大	公立	45,000円
	専修学校（専門）	私立	53,000円
	大学	公立	45,000円
		私立	54,000円
就学支度資金	専修学校（一般）		29,000円
	小学校		39,500円
	中学校		46,100円
	高等学校	公立	75,000円
	専修学校（高等）	私立	410,000円
	大学・短大	公立	370,000円
		私立	580,000円
	専修学校（専門）	私立	370,000円
	専修学校（一般）・修業施設（中卒）		75,000円
	修業施設（高卒）		90,000円